

# 総額 89億4,400万円

対前年度9億8,800万円減 (▲9.9%)  
 新規投資事業(ハコモノ整備)から脱却し、  
 未来への投資となる施策

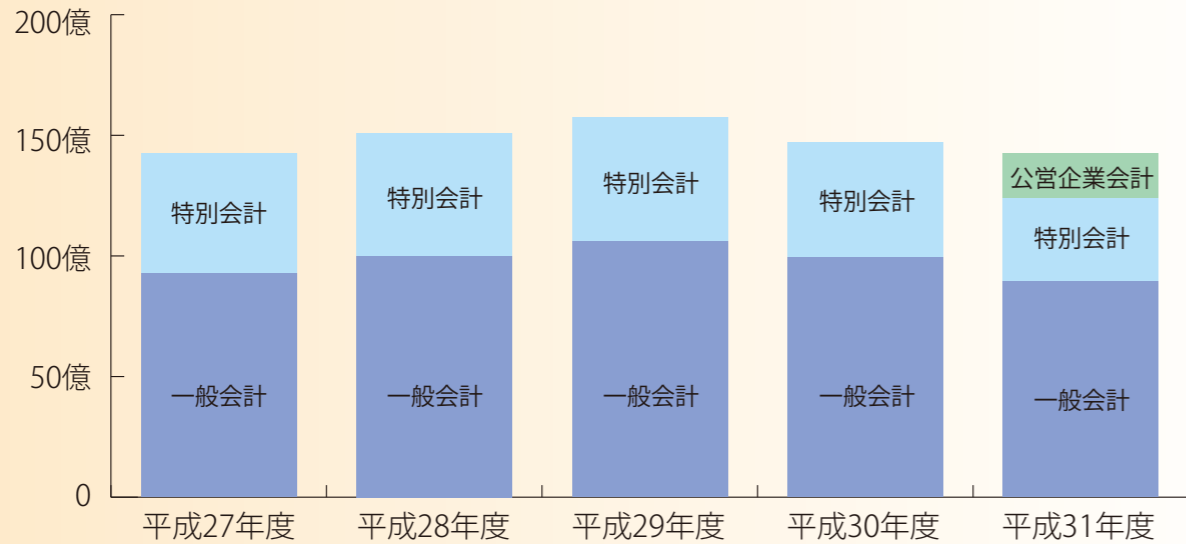
3月定例会

## 当初予算規模の年度別推移

(単位:万円)

項目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
一般会計		92億6,400	99億9,800	105億9,600	99億3,320	89億4,400
特別会計		50億 248	50億6,630	51億6,810	48億 443	34億3,439
※公営企業会計		—	—	—	—	19億 299
合計		142億6,648	150億6,430	157億6,410	147億3,643	142億8,138

※平成30年度まで特別会計で計上していた「下水道事業特別会計」は、31年度から公営企業会計で計上しています。(P3 当初予算規模の年度別推移)

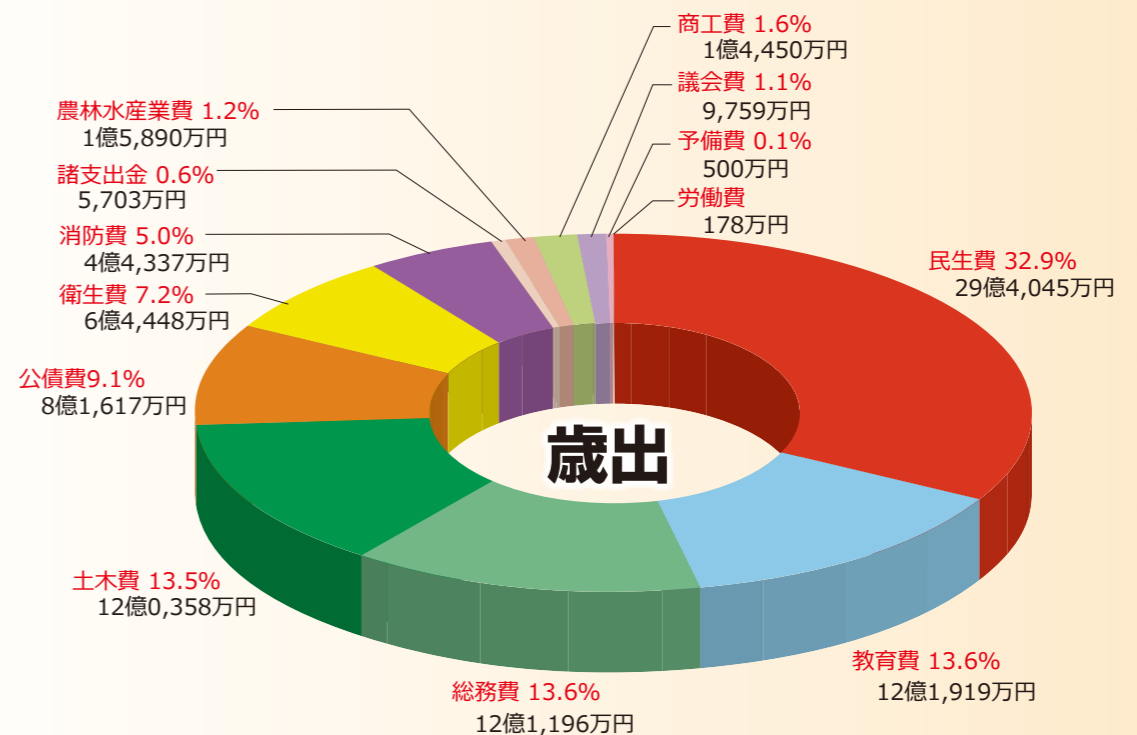
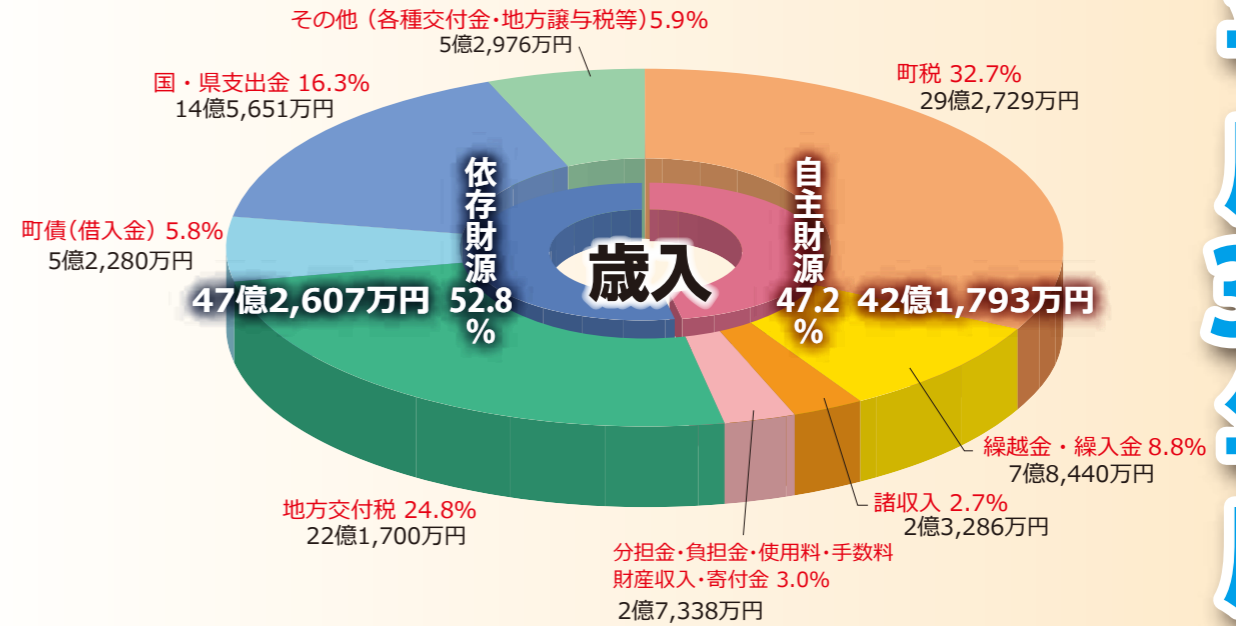


3月定例会が3月5日から22日まで18日間の会期で開催。

今定例会では、平成31年度の愛荘町行政施策の重要な予算決定を伴うことから、一般会計はじめ他会計について委員会付託による数日間の慎重審査を経て議決を行った。

一般質問は9議員からあり、第1日目(3/5)7議員、第2日目(3/6)2議員と2日間に分けて質問を行った。(※一般質問概要は、9ページから)

また、町長提案33件、議員提案4件について、第2日目(3/6)、最終日(3/22)にそれぞれ審査を行い、いずれも原案どおり同意・可決された。



# 平成31年度一般会計予算

### 一般会計予算の討論(3月22日)

#### 反対討論

辰己 保 議員

まちづくり構想は、「まちのブランドデザイン化」に特化した「選択と集中」ではないかと推察する。「歴史的建造物」「地域にある資源」への認識がなければ、まちのブランドデザイン化も町民と乖離し、空虚なものになると危惧する。行財政改革として、まちづくりや教育事業として町民生活を支援するわずかな支援金を削減して、経常収支比率はどれだけ改善されるのか。弱者への支援金の削減や労働の対価を見ず、賃下げする行政では、真の人権尊重のまちづくりを進めることはできないと警鐘をならし、反対を訴える。

ブロック塀や空家住宅等除去支援事業、子育て支援・福祉・教育の充実については、賛成をする。

#### 賛成討論

竹中 秀夫 議員

平成31年度一般会計予算は、年々膨れ上がる新規投資事業から脱却し、限られた財源の中で、本町の持続的発展につながる施策について、「選択と集中」により、重点的に予算配分が行われた。また、極めて厳しい財政状況であり、今後の行財政改革を課題と捉え、最小の経費で上質な行政サービスを提供する経営的視点に立った実効性のあるものとし、10年後にめざすまちの姿、愛着と誇り。人とまちが共に輝く、みらい創生のまちの着実な推進を図ることも確認できた。今後も建設的な議論を活発に行い、住民目線に立ったまちづくり、将来の子どものためのまちづくりの遂行の必要性を訴え、賛成を表明する。